

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成31年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（プールあり） 新潟市亀田総合体育館
管理者名	公益財団法人 新潟市開発公社
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当課	江南区産業振興課
所在地	新潟市江南区茅野山3丁目1番13号
根拠法令	スポーツ基本法
設置条例	新潟市体育施設条例
施設概要	<p>施工年月日 (亀田総合体育館)平成8年2月1日 (武道場・屋内多目的運動場)平成26年12月11日</p> <p>敷地面積 亀田総合運動公園全体 105,408.30㎡ (江南区文化会館敷地 約20,000㎡、農村公園分を含む)</p> <p>建築面積 9,606.79㎡</p> <p>延床面積 9,606.79㎡</p> <p>構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋2階建・塔屋2階建</p> <p>主要施設 メインアリーナ (バスケットボール2面/バレーボール2面/卓球33台/バドミントン8面) サブアリーナ (バスケットボール1面/バレーボール2面/卓球20台/バドミントン4面) 室内温水プール (25m×6コース・幼児用・低学年・着水プール・ウォータースライダー1基) トレーニングルーム (トレーニング機器各種) ランニングコース (1周 185m) 観覧席 固定708席・会議室・ミーティングルーム・医務室等 屋外テニスコート (砂入り人工芝 照明付 3面) 武道場・屋内多目的運動場【別棟】 構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨平屋建 建築面積 2,803.08㎡、延床面積 2,518.40㎡ 武道場 (柔道場2面、剣道場2面、簡易観覧席190席、屋内多目的運動場と併設) 屋内多目的運動場 (フットサル1面又はテニスコート2面、武道場と併設) 駐車場 (アスファルト舗装696台・江南区文化会館と共有)、駐輪場 総合運動公園トイレ、東屋等</p>

施設設置目的
<p>スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活に寄与する管理運営を行うこと。</p> <p>(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。</p> <p>(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。</p> <p>(9)江南区の施策の方向性（スポーツに親しむ機会の創出等、新規利用者の獲得、利用者の増加を図る）に沿った自主事業の提案・実施に努めること。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	・ホームページ等による情報提供更新 月1回以上 ・施設利用者への広報誌、情報紙、チラシ等の発行 月1回以上	・ホームページ週1回以上更新 ・Facebook、Twitter、Instagram 配信スタート ・アスパークだより月2回発行	A	従来の広報に加え、SNSを活用した幅広い年代への広報に積極的に取り組んでいる点を評価する。
	基準利用者数の達成	・利用者数年間404,000人以上(うち個人開放:242,000人以上)	380,132人以上(うち個人開放:232,366人) ※1	B	新型コロナウイルス感染拡大による休館期間(3/3~3/31)の影響で目標を達成しなかった。しかし、前年度3月実績で見ると、413,171人(うち個人開放:253,998人)で目標を達成する見込みであったことからB評価とする。
	基準稼働率の達成	・稼働率(利用時間/利用可能時間)アリーナ80%以上、テニスコート40%以上(4月~10月)、武道場40%以上、屋内多目的運動場80%以上 *自主事業を含む	アリーナ82.8%、テニスコート47.1%、武道場43.6%以上、屋内多目的運動場83.1%以上	B	新型コロナウイルス感染拡大による休館の影響を受けながらも、全ての室で目標を達成したことを評価する。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が70%以上 :スポーツ教室参加満足度70%以上 :施設利用者満足度(接客)70%以上	教室 87% 施設 85%	A	教室は17%、施設は15%、目標値を上回って達成した。
	苦情・要望に対する対応	・苦情、要望は14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	適切	B	対応は迅速だった。施設修繕は利用者意見も参考に対応しており、利用者満足度につながったことを評価する。
	地域連携・社会貢献活動	社会貢献活動(地域連携事業)年1回以上実施	社会貢献活動(ボランティア清掃等)への参加 かめた祭り等への協力	A	ボランティア清掃への参加だけでなく、地域の祭りへの参加や自治協主催イベントへの協力等、積極的に地域連携・社会貢献に取り組んでいることを高く評価する。
	江南区の施策に合致したサービス提供	・江南区の施策に合致した自主事業(スポーツ教室等)を年間1,000件以上実施 ・教室参加者 年間延べ35,000人以上	2,281件 41,569人	A	目標を大幅に上回っている。自主事業の内容も、フロアカーリング教室等、区の施策を反映している点を高く評価する。
財 務	利用者一人あたりのコスト削減額	利用者一人当たりコストを600円以下(人件費及び工事費を除く)	248円	A	目標値から58%削減したことを高く評価する。
	市の歳入の増加	使用料収入を年間64,000,000円以上(武道場・屋内多目的運動場を含む)	59,321,867円※2	B	新型コロナウイルス感染拡大による休館期間(3/3~3/31)の影響で目標を達成しなかった。しかし、前年度3月実績で見ると、64,009,362円で目標を達成する見込みであったことからB評価とする。
業 務	事業計画・事業報告の適切さ	・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業報告の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	他施設等の連携に関する理解	他施設との連携会議を月1回以上開催	月2回以上館長会議の実施 区内体育施設協議会の実施	B	館長会議のほか、区内体育施設の会議の開催により、十分な連携が図られていた。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置と安全確保体制の確立 ・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年2回以上実施	管理業務マニュアルの保有 全体研修実施 消防訓練年2回実施	B	適切に対応していた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応が整理されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	管理業務マニュアルの保有 防犯・防災講習会への参加	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う事故発生件数 0件	管理業務マニュアルの保有	B	適切に対応しており、重大な事故は発生しなかった。
	自己管理システム	事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載	月別報告書及び事業報告書での利用状況分析及び自己評価に記載	B	適切に対応しており、的確に状況分析ができていた。
	関係法令の遵守	個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修1回以上	WEB研修会の実施 全体研修実施	B	適切に実施していた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
	人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	接遇研修・応急手当研修、水難訓練(年2回)トレーニング研修(セノ-社員講師)、普通救命講習Ⅱ受講	A
労働基準の充足		労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

施設での目標として、413,000人の利用者数を目指し、空き状況の多い月曜日にジュニアテニス教室の開催、屋内プールの延長開館、フロアカーリング体験会（新潟市主催、当館で開催、募集及び指導協力）への協力、個人開放/バドミントン・卓球の開放時間の拡大を行うなどの取り組みを行いました。3月、新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設休止期間（3月3日～）があったことから、見込み数ではありませんが、413,171人（3月前年度実績）と概ね達成できました。

また、各地域からの依頼により、フロアカーリング等指導派遣を行い（小中学校9校、公民館3件、児童館1件等）、地域の皆様の活動に協力をさせていただきました。さらに、お客様からの要望もあり、地域のイベントである「かめだ祭り」を盛り上げるため、「みんなで踊ろう！ 亀田甚句」の教室を開催し、参加者とスタッフで甚句流しに参加させていただきました。

配置職員のスキルアップ向上のため、計画的に研修を行い、在籍のスタッフは普通救命講習Ⅱを取得、年2回消防訓練・水難訓練の実施、新たに専門の講師を迎え、トレーニングルーム指導研修を開催しました。

日頃よりお客様とのコミュニケーションを密にし、対話からご要望やご意見などをいただける体制に努め、口頭でいただいた要望、苦情、お褒めの言葉は報告書にまとめ、スタッフで共有し、対応が必要な案件には速やかに対応を行いました。また、今年度、SNS（Facebook、Twitter、Instagram）での情報発信を開始しました。新規利用者の獲得を目指し、さらに利用者の拡大を図ります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設利用休止期間中は、担当課の指示のもと速やかに掲示及び予約の皆様へ対応を行いました。今後お客様が、安全・安心にご利用いただける施設管理運営に努めます。

所管課による総合評価（所見）

利用者数について、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための休館期間があったことから目標を達成できなかったが、昨年度実績による見込みでは達成できたと想定されることや、稼働率は目標を達成したことなどから、高水準の施設管理であったと評価する。そのほか、自主事業では亀田甚句の教室やフロアカーリングの指導派遣等、区の施策を反映しており、地域に密着したサービスも充実していた。また、様々なSNSの活用により、幅広い世代への効果的な広報を実現している。

今後は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、安全安心を確保しながら、利用者に親しまれる施設運営を期待する。

- ※1 新型コロナウイルス感染拡大防止による休止（3月3日（火）～トレーニングルーム休止、4日（水）～全館（屋外施設含む）休止）。
昨年度3月利用人数を今年度の利用者見込みとして合算すると、
利用者見込み数 413,171人（H30 3月実績 33,039人）
個人開放見込み数 253,998人（H30 3月実績 21,632人）
※個人開放は、個人開放/バドミントン・卓球、トレーニングルーム、ランニングコース、プール、ちびっこ広場、武道場の利用者合計
- ※2 昨年度3月收入実績を収入見込みとして合算すると、
使用料収入見込み 64,009,362円（H30 3月実績4,697,495円）

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成31年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） 新潟市亀田運動広場（ふれあいドーム・少年野球場）		
管理者名	指定期間	平成31年4月1日	～ 令和6年3月31日
担当課	江南区産業振興課		
所在地	新潟市江南区亀田緑町1丁目810番地3外		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	亀田運動広場 敷地面積 亀田運動広場全体 11,678.03㎡ 亀田運動広場駐車場 1,312.34㎡ （ふれあいドーム） 竣工年月日 平成13年5月1日 敷地面積 ふれあいドーム分 997.87㎡ 建築面積 984㎡ 構造 鉄骨造 酸化チタン膜噴1階建 砂入り人工芝 照明付 主要施設 ふれあいドーム（ゲートボールコート2面又はテニスコート1面） 物置・トイレ・駐車場 （少年野球場） 敷地面積 11,201㎡ 主要施設 少年野球場（クレー）外野部分一部 ゲートボールコート 倉庫・トイレ・駐車スペース		

施設設置目的
スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、設置。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	・利用者数年間15,000人以上(2施設の合計)	16,054人	B	新型コロナウイルス感染拡大による利用休止期間がある中で目標値を7%超えて達成した点を評価する。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が70%以上 ・施設利用者満足度(接客)70%以上	93%	A	目標を23%超えて達成した点を高く評価する。
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	適切	B	対応は迅速だった。
財 務	利用者一人当たりのコスト削減額	・施設利用者一人当たりコストを70円以下(人件費及び工事費を除く)	74円	B	利用者の要望を受けたコートライン補修の実施によりコストが発生した。しかし、突発的な作業であり当該作業がなかった場合、68円となる見込みであったことや、職員で作業しコスト縮減を図ったこと、利用者意見を取り入れたことで利用者満足度向上に貢献したことから、B評価とする。
	市の歳入の増加	・施設使用料収入が年1,700,000円以上	1,547,100円※1	B	新型コロナウイルス感染拡大による休館期間(3/4~3/31)の影響で目標を達成しなかった。しかし、前年度3月実績で見ると、1,706,100円で目標を達成する見込みであったことからB評価とする。
業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制確立	・無人施設における巡回安全責任者に選定及び不在時の代理人の選定。 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	適切	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	適切に対応しており、重大な事故は発生しなかった。
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年1回以上実施	屋外体育施設研修	B	適切に対応していた。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

ふれあいドームでは、お客様からの要望も多かった、テニスコートライン補修をスタッフで年3回実施しました。また、当初よりテニスコートネット上の照明がなく、利用のお客様より「ネット上でボールが消え、危険である」との声をいただき、施工業者に調査を依頼したところ、照度が不足していた報告を受けたため、担当課と協議し、新たに照明設置工事を行いました。お客様からは、「見やすくなるので今後も適宜ライン補修をお願いしたい」、「これまでと違い非常に明るくなった」と喜びの声をいただきました。亀田少年野球場では定期的に利用する団体からの要望に応え、マウンド、バッターボックス等のグラウンド整備を行いました。ご利用時に直接ご要望をいただき、利用報告書にご要望をお寄せいただける、お客様との関係を今後も維持し、さらに深めていけるよう努めます。今年度、SNS(Facebook、Twitter、Instagram)での情報発信を開始しました。新規利用者の獲得を目指して、さらに利用者の拡大を図ります。新型コロナウイルス感染拡大防止のため施設利用休止期間では、担当課の指示のもと速やかに掲示及び予約の皆様へ対応を行いました。引き続き、定期的に利用する団体とも連携を図りながら施設的环境整備・美化に努め、今後お客様が安全・安心にご利用いただけるよう、施設管理運営を行います。

所管課による総合評価(所見)

利用者からの意見・要望を聴取し、運営に取り入れることで利用者満足度を向上させていることを高く評価する。また、様々なSNSの活用により、幅広い世代への効果的な広報を実現しており、利用しやすい環境づくりを積極的にしている。使用料収入は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために利用休止としたため、目標を達成できなかったが、昨年度実績による見込みでは達成できたと想定されることから、高水準の施設管理であったと評価する。

※1 昨年度3月收入実績を収入見込みとして合算すると、
使用料収入見込み 1,706,100円 (H30 3月実績 159,000円)

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

平成31年度

施設名	新潟市江南区亀田地区体育施設（無人・無料） かわね公園多目的グラウンド		
管理者名		指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当課	江南区産業振興課		
所在地	新潟市江南区亀田工業団地1丁目2528番地17		
根拠法令	都市公園法		
設置条例	新潟市都市公園条例		
施設概要	敷地面積 15,292㎡ 主要施設 野球場（クレー） ナイター照明（内野2基、外野2基）付 倉庫、トイレ *ナイター施設は有料		

施設設置目的
スポーツの普及および振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1)新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。</p> <p>(2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。</p> <p>(3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。</p> <p>(4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。</p> <p>(5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。</p> <p>(6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。</p> <p>(7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。</p> <p>(8)指定管理者制度を理解し、実践すること。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準利用者数の達成	・利用者数年間9,500人以上	11,354人	A	目標値を19%超えて達成した点を高く評価する。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が70%以上	87%	A	目標値を17%超えて達成した点を高く評価する。
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には 14営業日以内に回答	適切	B	適切に対応していた。
財 務	利用者一人当たりのコスト削減額	・利用者一人当たりコストを240円以下(人件費及び工事費除く)	303円	C	電気料の基本料金割引がなくなったためコストが膨らんだ。
業 務	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	適切	B	適切に対応していた。
	安全責任者の配置と安全確保体制確立	・無人施設における巡回安全責任者に選定及び不在時の代理人の選定。 ・連絡体制、連絡方法マニュアルの整備	緊急連絡網・非常配備体制伝達系図保有	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う重大事故発生件数 0件	適切	B	適切に対応していた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務基準書等に定める事項の遵守	適切	B	遵守している。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年1回以上実施	屋外体育施設研修 ナイター設備研修	B	適切に対応していた。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適切	B	遵守している。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

整備用具が収納されている倉庫の鍵貸出が定着し、利用報告書にて利用状況が確実に確認できるようになりました。隣接民有地へのボールの飛び出しについてはグラウンドの規格により完全に防ぐことができないため、担当課に報告及び協議をし、令和2年度よりウレタン複合バット(ピヨンドマックス等)の使用を禁止することいたしました(小中学生除く)。引き続き、お客様や隣接の皆様に対し、安心な施設管理に努めます。また、今年度より開始したSNS(Facebook、Twitter、Instagram)で施設の空き状況やイベント開催など情報発信しました。今後は江南区にある高校野球部と連携を図り、野球教室開催を通じて、野球と触れ合える場を提供することで、新規利用者の獲得を目指し、利用者の拡大を図ります。

所管課による総合評価(所見)

ナイター設備の取り扱いを研修の形をとることで、確実に職員へレクチャーしており、安全な施設管理ができている。施設の規格による問題点も所管課と協議し、積極的に解決へ向けて取り組む姿勢を評価する。また、様々なSNSの活用により、幅広い世代への効果的な広報を実現している。新型コロナウイルスを踏まえ、安心安全を確保しながら、利用者に親しまれる施設運営を期待する。